

## ==クリスマスの夜==

早いもので、今年最後の月となりました。年の瀬に向けて、大人は何かと慌ただしくなる時期ですが、サンタの来るクリスマスを心待ちにしている子どもたちも多いことでしょう。

私は小さい頃、キリスト教の幼稚園に通いました。クリスチャンの母に連れられてクリスマス礼拝に参列する時には、いつもよりも少しおめかしをして出かけたものです。ろうそくの灯りを手に静かに祈るこの夜は特別なものを感じました。炎から滴り落ちるロウが手に落ちやしないかと、ヒヤヒヤしたのを覚えています。

「幼子イエス」の生まれた夜を祝福する意味をそれほど理解していたわけではないでしょうが、一人の赤ちゃんが生まれたことを皆が喜び、祈り、歌とともに賛美する幸せな夜だ、という理解は、あたたかなクリスマスのイメージを私に与えてくれたと思います。

ひとりの人間が生まれるならば、そのことは皆から祝福され、喜びに満ちあふれたものであってほしいと願っています。出生前診断でおなかの子に障害があるとわかり、苦しみ悩まれた末、産むことを決意されたお母さんの言葉です。

『この子は神様からの授かりもの

生きて生まれてきてくれればいい

運命を受け止めて 感謝して 育てていけばいい』

色々あるでしょうが、クリスマスの賛美とともに、わが子が生きて、今ここに存在していることを喜び、感謝したいと思います。

(臨床心理士 藤井あづさ)